



常設
展示

羽生の文学と歴史

[会 場] 羽生市立郷土資料館展示室
 [期 間] 令和2年6月1日(月)～11月29日(日) 入館無料
 [休館日] 火曜日(火曜日が祝日の場合、翌日が休館)
 第4木曜日(7月・8月は開館)

常設展示では、羽生が舞台となった、明治時代の文豪田山花袋の小説『田舎教師』に関連する資料と羽生市内で発見された旧石器時代から中世までの幅広い時代の考古資料を紹介します。また、宮澤章二に関するミニコーナーもあります。

ぜひご来館ください。

羽生の文学



こばやしひでぞう
 小林秀三の日記 複製品



しよじょうし
 抒情詩(明治30年刊行)
 やなぎたくにお くにかき たどつほ おおたぎよくめい
 (柳田国男・国木田独歩・太田玉茗などの合著)

羽生の歴史



どめん
 土面 縄文時代
 ほっと
 (発戸遺跡) 複製品



はしきかめ
 土師器甕 古墳時代
 おおみち
 (大道遺跡)



えんとうはにわ
 円筒埴輪 古墳時代
 ようめいじ
 (永明寺古墳)